

実施概要

日時：平成24年10月23日

実施場所：岩出市立中央小学校

主催：国土交通省近畿運輸局、国土交通省近畿運輸局和歌山運輸支局

後援：公益社団法人和歌山県バス協会

協力：岩出市立中央小学校、岩出市、岩出市教育委員会、社会福祉法人岩出市社会福祉協議会

講師：和歌山県立和歌山盲学校、和歌山県介護普及センター、和歌山バス那賀株式会社

参加者：岩出市立中央小学校4年生93名

プログラム

13:20 開会（オリエンテーション）

13:30 学習・体験開始

- ・車いすの利用体験、介助体験
- ・視覚障がいの擬似体験、介助体験
- ・ノンステップバス乗降体験

15:25 閉会（感想発表、修了証授与など）



アンケート結果（抜粋）

体験後に実施したアンケートの結果（参加者93人中、回答者91人）

○バリアフリー教室に参加した感想

とても良かった：81人、良かった：10人

○車いすを使って体験した感想

- ・車いすを使っている人の大変さ（不便さ）がわかった。
- ・ちょっとした段差でも車いすは通れないことがわかった。
- ・車いすの方が困っていたら、手助けしようと思った。

○アイマスクを使って体験した感想

- ・目の見えない人の不自由さや大変さがわかった。
- ・とても怖かった。
- ・目の不自由な人を見かけたら助けてあげたい。

○車いすやアイマスクを使ってバスの乗り降りをした感想

- ・車いすでバスに乗り降りするのが怖かった（特に降りるとき後ろ向きで大きく傾くので怖かった）
- ・車いすを乗せるために、バスが工夫されていることがわかった。
- ・電車やバスで身体の不自由な人に会ったら、手伝ってあげたい。

○この体験をどのように役立てたいか（複数回答可）

- ① 困っている人を見かけたら進んで助ける 82人
- ② 障害がある人の立場や気持ちを考える 74人
- ③ 歩道や通路に自転車などを置かないようにする 68人
- ④ 手助けのしかた、方法を家族や他の人に伝えたい 38人
- ⑤ その他（自由意見）
 - ・バリアフリー教室で体験したことを、日常でも実行したい。
 - ・困っている人を見かけたら、声をかけて手助けをしたい。
 - ・車いすの方が段差で困っていたら、助けてあげたい。